

Feel the arts 伝国の杜だより

米沢市上杉博物館
置賜文化ホール

Autumn 2010
Vol.18

朱漆塗紫糸素懸威五枚胴具足
南蛮笠式

宮坂考古館蔵＜後期展示＞

甲冑の主とされる前田慶次は会津時代に新規に召し抱えられた直江兼続配下の1000石の知行を持つ「組外衆」筆頭として慶長5年の記録が残る。会津120万石の象徴ともいえる家臣の一人か。



直江兼続生誕四五〇年

特別展 上杉家家臣団

前期 9/18(土)～10/17(日)

後期10/23(土)～11/23(火・祝)

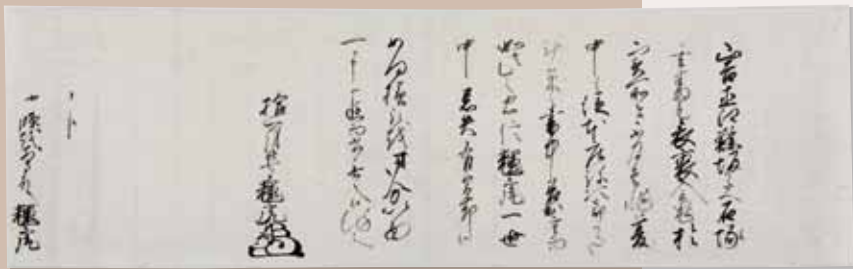
休館日:9/22(水)・10/27(水)

* 展示替10/18～10/22(この期間常設展のみ開館)

観覧料: 一般700円(560円) 高大生450円(360円)

小中生300円(240円) ()内は団体料金

※常設展示室との一体型料金



(永禄11年)11月27日中条藤資宛上杉謙信書状 米沢市上杉博物館所蔵

＜前期展示＞

初公開。本庄繁長の乱において敵の動向を報告した藤資に謙信は「一生わすれません」と感謝。この後、藤資は黒川氏との対立を再燃させた。訴えを受けた謙信の近臣たちは…。

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」 原本展示 10/23(土)～11/23(火・祝)

休館日:10/27(水)

戦国から江戸時代にかけての上杉家の歴史を家臣団に視点を当てて紹介する展覧会。上杉謙信や景勝を支えた家臣の活動を、代表的家臣をピックアップして紹介していきます。軍事的な面のみならず、上杉家存続の基盤をなす政治的・経済的な面で果たした役割などを明らかにしていきます。江戸時代の米沢藩上杉家の家臣団が形成されていく過程にも目を配ります。

講演会

演題：「戦国織豊期・近世初期の上杉家臣団」
講師：矢田俊文氏（新潟大学人文学部教授）
期日：11月20日（土）14：00～16：00
場所：伝国の杜大会議室

ギャラリートーク

期日：9月18日（土）・10月2日（土）・17日（日）
23日（土）・11月6日（土）・23日（火・祝）
14：00～15：00
場所：米沢市上杉博物館企画展示室
当館学芸員による展示品解説（展示室入館料が必要です。）

入館料

一般700円（560円）高大生450円（360円）
小中生300円（240円）
（ ）は20名以上の団体料金 ※常設展と一体型料金のみ

特別展
上杉家臣団

直江兼続生誕四五〇年



<前期展示> 紺糸威二枚胴具足 伝 直江兼続所用（会津若松市）

コレクション展

上杉博物館アートコレクション

美術の見方案内所

会 期：12月4日（土）～2月6日（日）
休館日：毎週月曜（祝日の場合翌日）
年末12/27～12/31
観覧料：一般200円（160円）
高大生100円（80円）
小中生50円（40円）
（ ）内は20名以上の団体料金

ギャラリートーク：12月4日14：00～
当館学芸員による展示品解説
（企画展示室入館料が必要です。）

美術作品を見ることは、ただ一つの正解を見つけ出すことではありません。こう見なくてはいけないという正解はないのです。

しかし、作品をもっと楽しむ、味わう方法があります。それは、作品をよく見るということ、作品との対話です。今回の展示では、美術作品との対話の仕方を上杉博物館のアートコレクションとともにご紹介します。美術を通して自分でも気づいていない新しい自分に出会えるかもしれません。

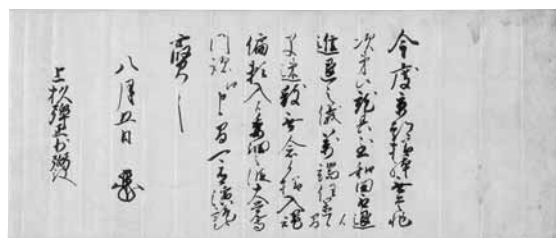


MEMORY (T) 後藤克芳 1986年
アクリル・エナメル・木

コレクション展

国宝「上杉家文書」の世界Ⅳ～助けて下さい

会 期：2011年2月11日（金）～3月13日（日）
休館日：毎週月曜日・祝日の場合はその翌日
観覧料：一般200円（160円）高大生100円（80円）
小中生50円（40円）（ ）は20名以上の団体料金
ギャラリートーク：2月11日（金・祝）・26日（土）・3月13日（日）14：00～
当館学芸員による展示品解説（企画展示室入館料が必要です。）



（永禄8年）8月5日足利義昭御内書（国宝「上杉家文書」・館蔵）

2000点を超える「上杉家文書」は多大な情報を持っていますが、この展覧会では、戦国時代の変転極まりない情勢の中で長尾為景・上杉謙信・上杉景勝らを頼ってきた諸勢力に着目し、戦国大名から近世大名へと移行していく上杉氏権力の特色の一つを見出ししていきたいと思っています。またそのような中で見られる文書の形についてもふれ、「上杉家文書」が国宝たるゆえんについても紹介したいと考えています。

常設展示室 上杉文華館

上杉文華館では、特別な場合を除き国宝「上杉本洛中洛外図屏風」の原本または複製をご覧いただけます。今年は、昨年度大河ドラマ「天地人」の主人公、上杉家の執政直江兼続の生誕450年であることから、1ヵ月ごとに展示替えを行い12月まで、国宝上杉家文書をはじめ、直江兼続とその時代、周辺を紹介する展示を行っていきます。年末からは上杉鷹山を紹介します。

- ◇天下人の力 8/26（木）～9/21（火）
- ◇上杉氏の信仰と御堂 9/23（木）～10/26（火）
- ◇景勝・兼続ファミリー 10/28（木）～11/23（火）
- ◇創られる兼続像 11/25（木）～12/26（日）
- ◇上杉鷹山書状を読む① 12/28（火）～1/30（日）
- ◇上杉鷹山書状を読む② 2/1（火）～2/27（日）
- ◇上杉鷹山書状を読む③ 3/1（火）～3/27（日）

教育普及事業

2010.10～2011.3

たいけん・はっけん・ものづくり

プレイショップ

マンスリーメニュー

- 10月 ハニカム紙でいろいろなかたち
- 11月 オリジナル年賀状をつくろう
- 12月 包んで結んで風呂敷チャレンジ
くっつきコーンであそぼう
- 1月 和紙でつくろう鬼の面
だんごの木
- 2月 おりびなづくり
- 3月 ふしぎふしぎぐによっぴー

無料で
体験できます。
(体験お休みの
日もあります)

体験学習室で
やってるよ

musedu(みゆでゅう) 1

こども学芸員、「はやぶさ」とであう！！

6月13日、こども学芸員のメンバーは福島市こどもの夢を育む施設 こむこむに出かけ、プラネタリウムで小惑星探査機はやぶさの7年間を綴った番組『HAYABUSA Back to the Earth』を見てきました。折りしも当日ははやぶさ帰還の日。こどもたちの興味はより現実的なものに。はやぶさの軌跡だけでなく、はやぶさが見た「地球」という奇跡にも感動ひとしきりでした。その後、福島県立美術館で「25年目のおくりもの」展を見学。伊藤学芸課長の案内で、古典の名作から現代アートまで幅広く堪能しました。



『HAYABUSA Back to the Earth』のチラシ



募集制 ワークショップ

ピックアップ

「鑑賞の時間 美術の見方案内所」

2011年1/21(金) 19:00～

高校生以上20人 参加費500円

*募集開始:12/22(水)～

*募集制ワークショップは
1ヶ月前から申込受付。
この他のプログラムは
8ページをご覧ください。

夜の展示室でコレクション展を鑑賞します。
「むずかしい…」と迷った時は「美術の見方案内所」へ。
案内地図を手に入れば、新しい「見方」との
出会いが待っています。

musedu(みゆでゅう) 2

福島県立美術館にて・・・キャプション情報の読み方を伝授

ミュージアムスクール・出前授業

博物館の活用方法は無限に広がります！

来館時の利用アドバイスはもちろん、
学校へ洛中洛外図屏風レプリカを持参しての
出前授業も行います。特に高等学校のご活用
お待ちしております。お気軽にご相談ください。

問合せ：
教育普及担当
0238-26-8001

収蔵品

学芸ノートから

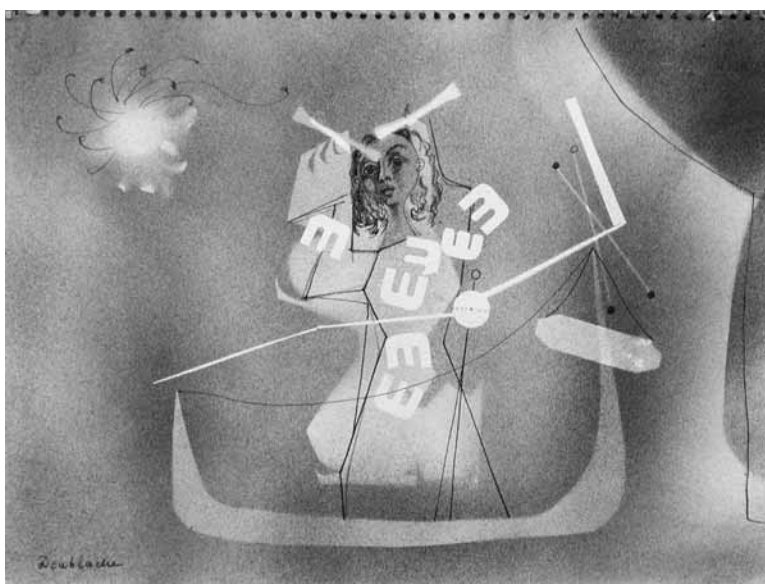
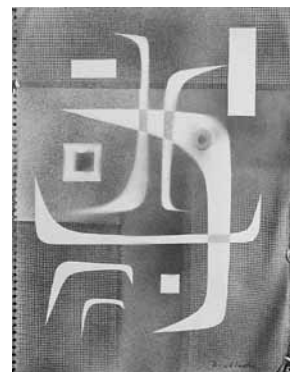
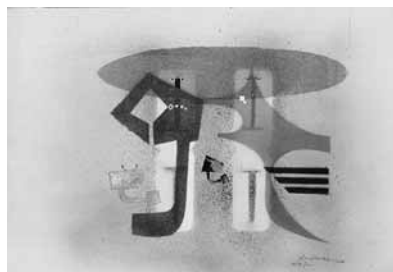
浜田浜雄のデザイン画

制作年：すべて1959年

右 30.2×22.8 エアブラシ

中 30.2×22.8 エアブラシ・ペン

下 22.7×30.2 エアブラシ・ペン



米沢出身の浜田浜雄(1915～1994)は戦前はシュルレアリスム(超現実主義)に強く傾倒し、サルバドール・ダリに代表されるような夢と幻想、無意識下の世界を表現した絵画を残しました。

戦後は「グラフィック集団」というグループにデザイナーとして参加し、多くの仕事に携わっています。また、前衛詩人たちとも交流が深く、同人詩集の表紙デザインやカットの仕事も手掛けました。彼が膨大に残したデッサン、イラスト、デザイン画は浜田の多彩な才能の一端を見せてくれます。グラフィック集団ではフォトモンタージュ、フォトグラム、着色写真など実験的な技術・表現が模索され、この時期の浜田の作品にも影響が見て取れます。この作品はエアブラシを用いて霧状の絵具を吹きつけ独特の表現を生み出しています。

浜田浜雄の作品の底流には戦前・戦後を通じて、自由、ユーモア、皮肉といった多彩な要素が行き来し、見る者の感覚を揺さぶります。それでいて非常にデザイン性が高く、一つの画面に収まる様は優れたセンスのたまものと言えるでしょう。

ホール催事案内 ▼

- ・掲載の内容は追加・変更となる場合があります
- ・チケットの発売方法、発売開始時刻など詳細な情報は、各公演チラシをご覧ください。
- ・伝国の杜ファンクラブ会員は、一部の公演を除きおひとり様2枚まで1割引で購入できます。ご入会等詳しくはお問合せください。(年会費は一般2,500円です。)

おきたまの秋空に響け！ 吹奏楽の日コンサート2010



10/3
(日)

開演9:30 終演予定17:00
入場無料(整理券なし)
会場 ホール(屋内)、ピロティ(屋外)

毎年恒例の吹奏楽コンサート。小学生から社会人までの出演者は36団体、約800人！今年初の出演となる置賜地区高等学校合同バンド(10校が3つのグループに分かれます)や100名を超える編成の米沢市中学校合同バンドなど、迫力満点のサウンドも楽しめます。吹奏楽の名曲や映画音楽など多彩なプログラムもお楽しみに。(託児サービスはありませんのでご了承ください)



屏風ライブシリーズ「4つの扉」第4弾

琴鼓'n'管クインテット
屏風から 聴こえてくる音 琴鼓'n'管

10/29
(金)

開場18:30 開演19:00
出演：小林武文(ドラム)、チェ・ジェ Chol(チャンゴ)、相川 瞳、上原なな江(パーカッション)、鈴木広志(サクソ)
入場料：全席自由 一般2,000円 学生1,000円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください

チケット：好評発売中 託児受付：10/22(金)締切
プレイガイド：伝国の杜、大沼米沢店、米沢サティ、米沢楽器店、音楽Azm館

エリック・サティや「My favorite things」などのスタンダードナンバーを東西のリズムにアレンジ！



小林武文 相川 瞳 チェ・ジェ Chol 上原なな江 鈴木広志

田部京子ピアノリサイタル

12/2
(木)

開場18:30 開演19:00
チケット：好評発売中
入場料：全席指定 一般3,000円 学生1,000円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください
託児受付：11/25(木)締切
プレイガイド：伝国の杜、大沼米沢店、米沢サティ、米沢楽器店、音楽Azm館



昨年、山形交響楽団演奏会のソリストとして登場した田部京子氏は現在日本を代表するピアニストの一人。シューマンの作品や室内楽の分野でのCDリリースも数多くいずれも高い評価を得ています。ショパンとシューマンのアニバーサリーイヤーである今年、ピアノの魅力をじっくりお届けします。

プログラム
メンデルスゾーン：『無言歌集』より
シューマン：トロイメライ
ショパン：
ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 op.35「葬送」
シューマン：『森の情景』より
シューマン：ソナタ第1番 嬰へ短調 op.11

米沢上杉文化振興財団設立20周年記念 演劇公演 もう一つの忠臣蔵～吉良左兵衛義周物語～

12/19
(日)

【昼公演】開場13:30 開演14:00
【夜公演】開場18:00 開演18:30
全席自由・入場無料(ただし入場整理券が必要です)
入場整理券：11/10(水)配布開始
配布場所：米沢信用金庫本支店・米沢繊維協同組合連合会(米織会館)
伝国の杜・米沢市役所総合案内・置賜総合文化センター1F受付
託児受付：12/12(日)締切

米沢藩4代藩主上杉綱憲の次男で吉良家を相続した吉良左兵衛義周の物語。赤穂浪士討ち入りに際し、祖父である吉良上野介を守れずに諏訪高島藩に配流となった義周は、幽閉生活の後、わずか21歳の若さで没する。悲運な義周の生涯を、切なくも心温まるストーリーに描くのは脚本家の山田桂司。通説とは異なる角度で、見る人の心を引きつける。義周にとって生きることの意味とは…。



三遊亭円楽襲名記念 円楽たい平二人会



1/13
(木)

開場18:00 開演18:30
チケット：一般発売10/14(木) FC会員先行予約10/6(水)
入場料：全席指定3,500円(当日500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください
託児受付：1/6(木) 締切
プレイガイド：大沼米沢店、米沢サティ、伝国の杜

・発売開始時刻は
お問合せください

恒例の「伝国の杜新春寄席」に、御存じ三遊亭円楽師匠と林家たい平師匠の登場です。ほかに漫才コンビの宮田陽・昇(よう・しょう)を迎え、色とりどりの寄席芸をお楽しみいただきます。家族や友人と一緒に、寒い冬にも心はぽかぽか。ぜひご来場ください！



恒例の「伝国の杜新春寄席」に、御存じ三遊亭円楽師匠と林家たい平師匠の登場です。ほかに漫才コンビの宮田陽・昇(よう・しょう)を迎え、色とりどりの寄席芸をお楽しみいただきます。家族や友人と一緒に、寒い冬にも心はぽかぽか。ぜひご来場ください！

公開レッスン受講生・聴講生募集

ピアノリサイタルの翌日に田部京子氏によるピアノ公開レッスンを開催します。氏の音楽性に直接に触れられる機会、どうぞふってご参加ください。

日時 12/3(金) 17:00～19:00の間、一人30～60分程度
(受講曲、受講生のレベル等によります)
受講条件
・前日のリサイタル(有料)を聴くことのできる方
・レッスンを受ける意欲のある方、本人の意志で受講を望まれる方
対象 小学校高学年以上
受講曲 原則的に自由曲1曲とする。
募集人数 2名 ※応募者多数の場合は抽選となります。
受講費用 5,000円
申込締切 10/15(金)
※詳細は伝国の杜事務室までお問合せ下さい。
聴講生募集 事前申込制。11/15(月)～電話または来館にて受付。
聴講料 リサイタルの半券をお持ちの方は無料、それ以外の方は500円(当日受付でお支払いください。)

親子でたのしむ音楽会

1/30
(日)

開場13:30 開演14:00

チケット：一般発売11/18(木) FC会員先行予約11/10(水)

入 場 料：全席自由 前売500円(当日800円)

※4歳から中学生まで無料(3歳以下はご遠慮下さい。)

託児受付：1/23(日)締切

出 演：米沢東高校音楽部弦楽班、山工工学部・米沢女子短期大学
アカデミーストリングス、米沢フィルハーモニー管弦楽団
竹谷智(指揮)、小林加代子、三條実鈴、淀野真理(以上ピアノ)プログラム
バレエ組曲「くるみ割り人形」より、
ジブリ・メドレー ほか

米沢を拠点に活動する、高校生から一般までの3つのオーケストラが集結！置賜の若手ピアニスト3人も出演します。寒い冬にちょっと心があったかくなるコンサート。

親子でおでかけください。

「音の絵本」コンサート

2/5・6
(土・日)

会 場：伝国の杜 米沢市上杉博物館 企画展示室

開場18:30 開演19:00(両日とも)

出 演：大場陽子(作曲家)、「音の絵本」木管五重奏団

チケット：一般発売11/25(木) FC会員先行予約11/17(水)

入 場 料：全席自由1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください

託児受付：1/29(土)締切



米沢市上杉博物館のコレクション展「美術の見方案内所」。12月に行うワークショップで、子供たちに絵画作品からイメージを受け取ってもらった「色」や「ことば」を元に、作曲家・大場陽子が新曲を書き下ろします。今回のコンサートのために結成した木管五重奏は地元で活躍する実力派のアマチュア演奏家たち。展示室で絵に囲まれながら、またデザイナーズチェアに座りながら、冬の夜をお楽しみください。
(※デザイナーズチェアでの鑑賞は先着順になります。)

山形交響楽団特別演奏会

「アマデウスへの旅」米沢演奏会

共催：(社)山形交響楽協会

2/20
(日)

開場15:30 開演16:00 ※15:50からプレトークあり

出 演：飯森範親(指揮) 山形交響楽団(管弦楽) 安井陽子(夜の女王)
吉原圭子(パミーナ) 高野二郎(タミーノ) 山響アマデウスコア
山形オペラ協会

チケット：一般発売12/2(木) FC会員先行予約11/24(水)

入 場 料：指定席4000円 自由席3000円 学生席1500円(当日500円増)

※未就学児の入場はご遠慮ください

託児受付：2/13(日)締切

プレイガイド：伝国の杜、大沼米沢店、米沢サティ、
米沢楽器店、音楽Azm館プログラム モーツァルト「交響曲第21番 イ長調」、
歌劇「魔笛」(ハイライト、演奏会形式)

飯森音楽監督と山響が8年かけて取り組んでいる、モーツァルトの交響曲全曲演奏。飯森氏がヨーロッパで培ったモーツァルトの演奏解釈やドイツ語・イタリア語で語りかけてくるような旋律の歌い方などを駆使して演奏の新境地に挑みます。若手も多く参加している専属合唱団「山響アマデウスコア」は米沢初登場 乞うご期待！



指揮：飯森範親

ききどろ

山形オペラ協会会長 藤野祐一さん

「夜の女王のアリア」は、高い音域で玉が転がるように声をコントロールする難曲。また東京から出演するソリストの他にも、山形オペラ協会で活躍する歌手達による独唱や五重唱、山響アマデウスコアによる合唱、と「歌」の魅力を存分に楽しんでいただける機会になりそうです！



夜の女王：安原陽子



パミーナ：吉原圭子



タミーノ：高野二郎

チケットはどこで買えるの？



①直接伝国の杜へどうぞ！

正面玄関を入り、能舞台の右手奥が「事務室」の入口です。

何の公演のチケット希望かをスタッフにお申し出ください。

②電話でも予約ができます！【舞台担当直通0238-26-2666】

直接これられない方は、まずお電話で席をご予約ください。

その後、1週間以内にお引き換えいただくか、郵便振替で

ご入金いただければチケットを郵送いたします。

③市内プレイガイドでも販売します！

公演によっては市内プレイガイドにお預かりいただいている

ものもあります。事前にご確認の上、お出かけ下さい。

※チケット購入後は主催者の都合で公演が中止される
場合を除き、払い戻しできませんのでご注意ください。

こども狂言クラブ



2010年春、米沢金剛会の協力により、金剛流能『鶴亀』アイに挑戦しました。初めて能の出演を果たしたのです。

能『鶴亀』のアイは皇帝に仕える官人のいで立ちで、これから始まる節会の始まりに帝が月宮殿にお越しになるから、大臣らも参上

するようにと触れ歩きます。
大勢の観客を前に緊張しながらも、物語の導入役を堂々と演じました。

こども狂言クラブ下半期活動予定

稽古日：10月16日(土)・30日(土)、1月22日(土)

2月5日(土)・26日(土)、3月12日(土)・20日(日)

発表予定：11月20日(土) 置賜こども芸術祭

12月11日(土) 稽古納め会

2月12日(土) 雪に舞う集い

3月21日(月・祝) 春休み発表会



「どきどきの杜 博物館へ行こう！
～歴史と出会う 高校生マンスリー～」

置賜地域の高校生をご招待

米沢上杉文化振興財団の設立20周年事業として、置賜地区の高校生を秋の特別展「上杉家家臣団」(常設展示室と一体型展示)に無料招待します。改めて伝国の杜を知り、郷土の歴史を発見する機会となればと思います。ぜひご活用ください。

直江兼続生誕450年

特別展 上杉家家臣団

前期9/18(土)～10/17(日) 後期10/23(土)～11/23(火・祝)

休館日: 9/22(水)・10/27(水)

* 展示替10/18～10/22(この期間常設展のみ開館)

主催: 財団法人米沢上杉文化振興財団
対象: ①置賜地区高等学校での学年・クラスごとの利用
②置賜地区高等学校生徒の希望者
(期間内随時個別入館)
* 引率教員も無料招待となります。

入館方法: 上記①の方 事前にご予約ください。

予約窓口 0238-26-8001

米沢市上杉博物館教育普及担当

上記②の方

総合案内で生徒手帳をご提示下さい。

米沢市上杉博物館

■最近の催事から

置賜文化ホール



■4月17日～5月23日

国立能楽堂コレクション
「能の雅 狂言の妙」
同時開催 上杉家伝来能衣装

国立能楽堂の開場25周年を記念し、能楽堂所蔵の能狂言衣装、能面を多数展示。上杉家伝来衣装も加え、さまざまな意匠に来場者もすっかり魅せられていました。

■8月4日(水)

サーカス
アコースティックコンサート

実力派ヴォーカルグループ「サーカス」の9年ぶり2度目となるコンサート。思わずため息が出る上質なハーモニーと4人の軽快なトークで、客席は癒しの雰囲気になりました。



■7月～9月 全5回

募集制ワークショップ
「刺し子入門」

企画展「母の手一和布で紡ぐ日本のこころ」に関連して、刺し子作家の遠藤さよ子氏を講師に迎えて刺し子の入門講座を開催。幅広い世代の方が、針をもつ楽しさを味わいました。

■8月20日(金)

Jazz Cafe Live2 ～池田杏理
with 渋谷光晴スーパートリオ～

大阪・神戸で活躍する若手ボーカリスト・池田杏理さんの東北初ツアー。20～70代までのお客様がスタンダードナンバーからホイットニー・ヒューストンまで、杏理さんの幅広いレパートリーをビールやアイスコーヒーを片手に楽しみました。



でんもり
ミニ知識

看板の 秘密★

伝国の杜の正面入口、風除室の屋根の上には催事の看板が設置されています。実は、これらは館内で職員が大型プリンターで出力したものを張り付けた手作りです。展示室で展覧会の準備が進められている頃、看板の入替作業も並行して行います。デザイン、見やすさなど毎回工夫しながら作っています。



大看板は八分割して
印刷します。なか
かの重労働です。

■ミュージアムショップから

発売中の展覧会図録を紹介します。

図説 直江兼続 人と時代

2,500円
サイズ A4版
ページ数 352ページ

2009年1月から約1年にわたって開催された「天地人博2009」において、文化財の展示を行った「天地人コレクション」を再編成したもの。最新の研究成果を反映した史実としての直江兼続を豊富な図解と解説で紹介する一冊。「米沢・天地人博記念リレー講演会」の講演録も収録。



初夏の特別展 直江兼続生誕450年 戦国大名とナンバー2

2,500円
サイズ A4版
ページ数 136ページ

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下人と重臣武将たちと、前田家、真田家、伊達家を中心とした主従ゆかりの資料をご紹介します。上杉景勝・直江兼続主従の特色を同時代の大名家を見ていくことで考えようとしたものです。あまり知られていない貴重な資料も数多くご覧いただけます。



ミュージアムショップではグッズの通信販売も承ります。贈り物などにもご利用ください。(0238-26-8000)

🌸 ミュージアムショップがもっと身近に! WEBショップ10月1日オープン。🌸

広げよう 文化ボランティアの輪

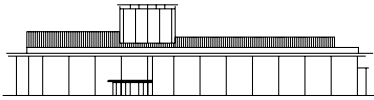
伝国の杜サポーターの一日 カメラのシャッターボタンおします

伝国の杜に入ると能舞台前で記念撮影をしている方がよくいらっしゃいます。よく見ると、ご家族やご友人と代わる代わるにカメラを持ち、全員で写真に納まるのが難しそう。そんなシーンをよく見かけていたのは、すぐ脇のインフォメーションデスクでご案内のボランティア活動をしているサポーターの板垣さん。

ある日、職員に「私がシャッターマンになったら喜んでくれるのではないのでしょうか」と提案し採用されました。

それからは、いつものスタッフベストに“シャッターマン”の文字を掲げてお客様に声をかけてみると、他からも次々とご要望が。お客様の笑顔を誘い和気あいあいと活動中です。

サポーターの気づきから始まったお客様サービスです。はい、チーズ！



伝国の杜サポーター募集中

お問合せ 26-8000
(サポーター担当)



もっと楽しむ！

伝国の杜 ファンクラブ

年会費

- ☐ 一般会員 2,500円
- ☐ 学生会員 1,000円
- ☐ ジュニア会員 500円

□申込方法：

ファンクラブ入会申込書に年会費を添えて、
伝国の杜事務室にてお申込ください。

■お問合せ 0238-26-8000

※会員期間は4月1日～翌年の3月末日までです。

3月1日～
入会キャンペーン実施

平成
22
年
度
特
典

- ・会員証の提示で米沢市上杉博物館の常設展示室・企画展示室に何度でも自由に入館できます。
(同伴者1人は団体割引で入館)
- ・置賜文化ホール自主事業チケットの先行予約・割引販売(会員1人につき2枚まで・一部公演のぞく)
- ・「伝国の杜だより」、ファンクラブ会報の送付(年5回程度)
- ・ファンクラブ会員向けの講座・イベントへの参加(年2回程度)
- ・ミュージアムショップで展覧会図録・オリジナル商品5%割引
- ・ミュージアムカフェでの10%割引(同伴者3人まで)

自主事業報告

第20回 市民茶会

■平成22年6月20日(日)



座の文化伝承館から



今年は220名を超えるお客様を迎えました。初めて米沢東高校茶道部の皆さんにお手伝いをしていただき、貴重な機会となりました。写真は1号室でお出した上生菓子「沢辺の蜚」。下に敷いた青紅葉が、一層涼やかさを演出してくれました。

河童洞コレクション

一たのしき郷土玩具の世界ー

■平成22年6月19日(土)～6月27日(日)

新収蔵の郷土玩具コレクションを初公開。米沢の一刀彫や相良人形をはじめ、赤べこや三春張子など、おなじみの郷土玩具が来場者の目を楽しませていました。



これからの事業

「秋山庄太郎 & 写真芸術協会」展

主催 秋山庄太郎写真美術館、秋山庄太郎写真芸術協会、
米沢市教育委員会、米沢上杉文化振興財団

■10月22日(金)～10月31日(日)

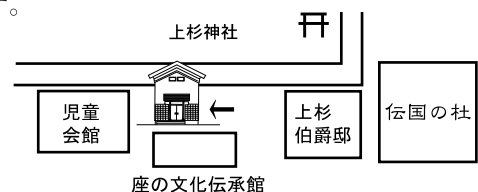
座の文化伝承館・蔵

入館時間 9:00～17:00

休館日10/26(火)

入場無料

「秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞」受賞作品展にあわせ、米沢市所蔵の秋山庄太郎の代表作品群『花-365日』所収の名作の数々と、本年設立された「秋山庄太郎写真芸術協会」会員作品を展示します。



	展覧会	教育普及事業	ホール
	G: ギャラリートーク C: コレクショントーク 講: 講演会 (企画展示室展示解説) (常設展示室展示解説) 企画展示室 前期 9/18(土) ↓ 10/17(日) 直江兼統生誕450年 特別展 上杉家家臣団 ※展示替 10/18~10/22 後期 10/23(土) ↓ 11/23(火・祝) 休館日: 9/22(水) 10/27(水) G: 9/18(土) 10/2(土) 10/17(日) 10/23(土) 11/23(火・祝) 14:00~ 常設展示室 上杉文華館 ◇テーマ ◇上杉氏の 信仰と御堂 9/23~10/26 ◇景勝・兼続 ファミリー 10/28~11/23 C: 10/30(土) 14:00~ ◇創られる兼続像 11/25~12/26 C: 11/27(土) 14:00~ 12/4(土) ↓ 2/6(日) コレクション展 美術の見方案内所 ※休館日 毎週月曜 年末 12/27~31 G: 12/4(土) 14:00~ 2/11(金・祝) コレクション展 ↓ 3/13(日) 国宝上杉家文書の世界IV ※休館日 毎週月曜 G: 2/11(金・祝)・26(土) 3/13(日) 14:00~ ◇上杉鷹山書状を 読む① 12/28~1/30 C: 1/8(土) 14:00~ ◇上杉鷹山書状を 読む② 2/1~2/27 C: 2/5(土) 14:00~ ◇上杉鷹山書状を 読む③ 3/1~3/27 C: 3/5(土) 14:00~	○: 自由参加制ワークショップ(申込不要) ■: 募集制ワークショップ(要事前申込) □: 連続ワークショップ活動日 ■10/1(金) おとなの鑑賞の時間 洛中洛外図屏風をたのしむ ■10/2(土) 洛中洛外図扇子をつくる ■10/16(土) 香るこころー練香づくりー ○10/23(土) むかしむかしを聞こう⑤ □10/30(土) チルドレンキュレーターズ活動日 ■11/3(水) 発見! 米沢アート三昧 チルドレンキュレーターズ活動日 ■11/20(土) プラスマイナス 11月中旬~12月中旬 デザイナーズチェアをたのしもう (体験学習室ですわれます) □12/12(日) チルドレンキュレーターズ活動日 ■1/21(金) おとなの鑑賞の時間 美術の見方案内所 □1/29(土) チルドレンキュレーターズ活動日 □2/19(土) チルドレンキュレーターズ活動日 □3/29(火) チルドレンキュレーターズ活動日	こども狂言クラブは1年を通して活動しています。見学や体験を希望される方は事前にご連絡ください。 10/3(日) 吹奏楽の日コンサート2010 10/29(金) 屏風ライブシリーズ④ 屏風から聴こえてくる音 琴鼓n'管 12/2(木) 田部京子 ピアノリサイタル 12/3(金) 田部京子 公開レッスン 12/5(日) 「音の絵本」ワークショップ① 未定 「音の絵本」ワークショップ② 12/19(日) もう一つの忠臣蔵 1/13(木) 円楽たい平二人会 1/30(日) 親子で楽しむ音楽会 2/5・6(土・日) 「音の絵本」コンサート ~コレクション展 「美術の見方案内所」によせて~ 2/20(日) 山形交響楽団米沢演奏会 「アマデウスへの旅」 3/13(日) 置賜地域芸能フェスティバル(仮称) 3/21(月・祝) こども狂言クラブ春休み発表会



国宝「上杉本洛中洛外図屏風」

10/23~11/23 原本展示

室町時代 狩野永徳筆
左隻第四扇 師走

門松作りに余念がない歳末の風景です。正月飾りに使う「裏白」を売り歩く男たちが行きます。頭に大きな荷物を乗せた女を伴い、買い物に精を出す女性など、新年を迎える華やきが伝わってきます。

伝国の杜 米沢市上杉博物館 置賜文化ホール

◆利用案内◆

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
0238-26-8000(代) 米沢上杉文化振興財団
0238-26-2660(FAX)
0238-26-8001(米沢市上杉博物館)
0238-26-2666(置賜文化ホール)

※休館日等は管理の都合により、変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

博物館開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで)
博物館休館日: 4月~11月 第4水曜日(休日の場合その直後の平日)
12月~3月 毎週月曜日(休日の場合その直後の平日)
年末(今年度は12/27~12/31)
※年始 1/1~1/3は休まず開館します。
博物館観覧料: 常設展 一般400(320) 大高生200(140) 小中生100(60)
()は20名以上の団体料金 ※特別展・企画展は別途
※特別展「上杉家家臣団」期間は常設・企画一体型料金
ホール休館日: 毎週月曜日/年末年始(休日の場合その直後の平日)



「伝国の杜」の「伝国」という言葉は、米沢藩九代藩主上杉鷹山が天明5年(1785)上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。